

あなたの企業の一員に

京をつなぐ

平成26年度
第Ⅱ四半期

◆◆◆ 保証季報 ◆◆◆



▶ 平成26年度 事業概況

▶ 京のイチオシ企業

株式会社 白鳥リネン

▶ 金融機関紹介

京都信用金庫 桂川支店

▶ 海の京都

伊根町

▶ お知らせ

- ・創業支援ネットワーク
- ・広報誌のご紹介

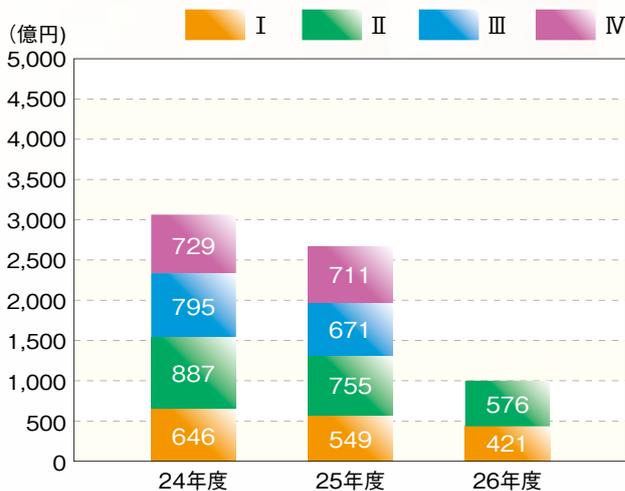


 京都信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO

保証承諾

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	2,557	42,136	88.4	76.7
II	3,299	57,634	92.0	76.4
III				
IV				
年度累計	5,856	99,771	90.4	76.5

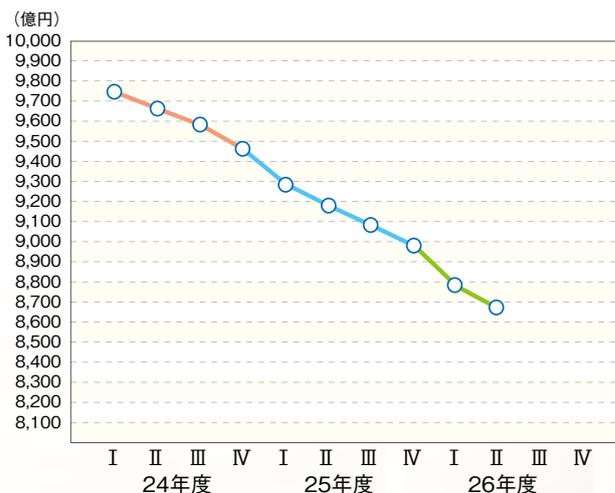


平成26年度第II四半期の保証承諾は3,299件、576億34百万円となりました。
前年度と比べ件数で92%、金額で76.4%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

債務残高

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	56,470	879,835	97.8	94.8
II	56,506	867,934	98.3	94.5
III				
IV				

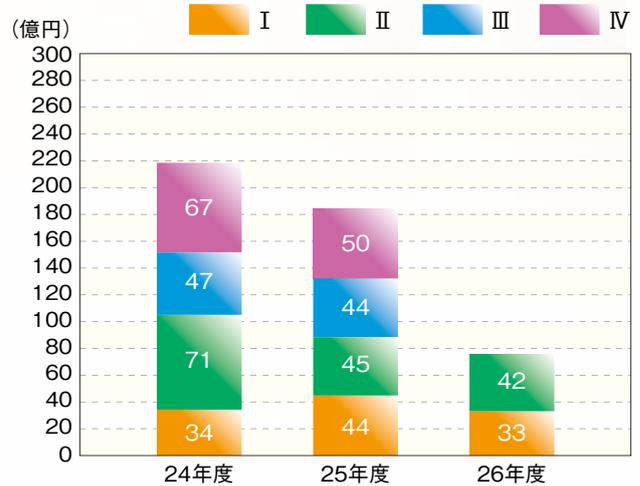


平成26年度第II四半期の保証債務残高は56,506件、8,679億34百万円となりました。
前年度と比べ件数で98.3%、金額で94.5%となり、件数、金額ともに前年度をやや下回りました。

代位弁済

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	189	3,262	79.7	74.5
II	226	4,203	100.9	93.3
III				
IV				
年度累計	415	7,465	90.0	84.0



平成26年度第Ⅱ四半期の代位弁済は226件、42億3百万円となりました。

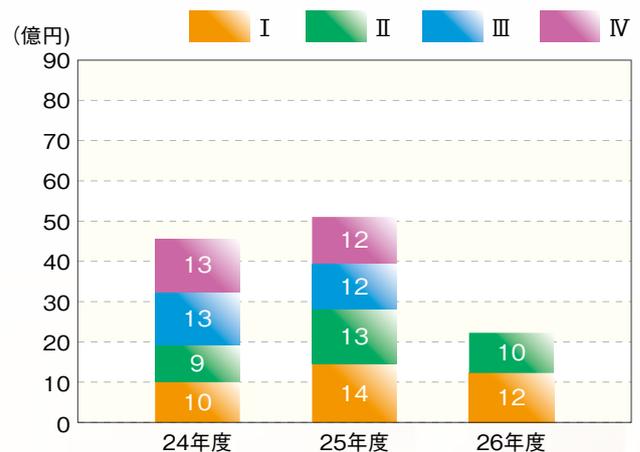
前年度と比べ件数で100.9%、金額で93.3%となり、件数は前年度とほぼ同水準でしたが、金額は前年度を下回りました。

求償権回収

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	78	1,221	91.8	88.9
II	59	985	83.1	78.1
III				
IV				
年度累計	137	2,206	87.8	83.7

※損害金回収を含む。件数は完済分。



平成26年度第Ⅱ四半期の求償権回収は59件、9億85百万円となりました。

前年度と比べ件数で83.1%、金額で78.1%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

保証承諾

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	789	12,649	88.7	76.3
5	832	13,651	81.9	72.6
6	936	15,837	94.8	81.0
7	1,071	17,508	92.9	75.6
8	980	15,879	94.7	79.0
9	1,248	24,247	89.4	75.3
小計	5,856	99,771	90.4	76.5
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	5,856	99,771	90.4	76.5
事業計画	—	270,000	—	—
全国累計	350,783	4,302,084	96.4	92.4

*全国は速報値

保証債務残高

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	56,770	893,793	97.6	94.8
5	56,609	885,441	97.8	94.8
6	56,470	879,835	97.8	94.8
7	56,428	875,106	98.0	94.7
8	56,455	870,474	98.1	94.6
9	56,506	867,934	98.3	94.5
上期平残	56,540	878,764	97.9	94.7
10				
11				
12				
1				
2				
3				
下期平残				
年度平残				
事業計画	—	850,000	—	—
全国累計	2,997,481	28,545,035	96.0	92.8

*全国は速報値

代位弁済

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	49	1,033	73.1	93.9
5	63	1,118	76.8	60.9
6	77	1,110	87.5	77.0
7	64	1,072	152.4	155.7
8	84	1,504	109.1	119.0
9	78	1,627	74.3	63.7
小計	415	7,465	90.0	84.0
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	415	7,465	90.0	84.0
事業計画	—	25,000	—	—
全国累計	26,116	279,291	80.3	80.1

*全国は速報値

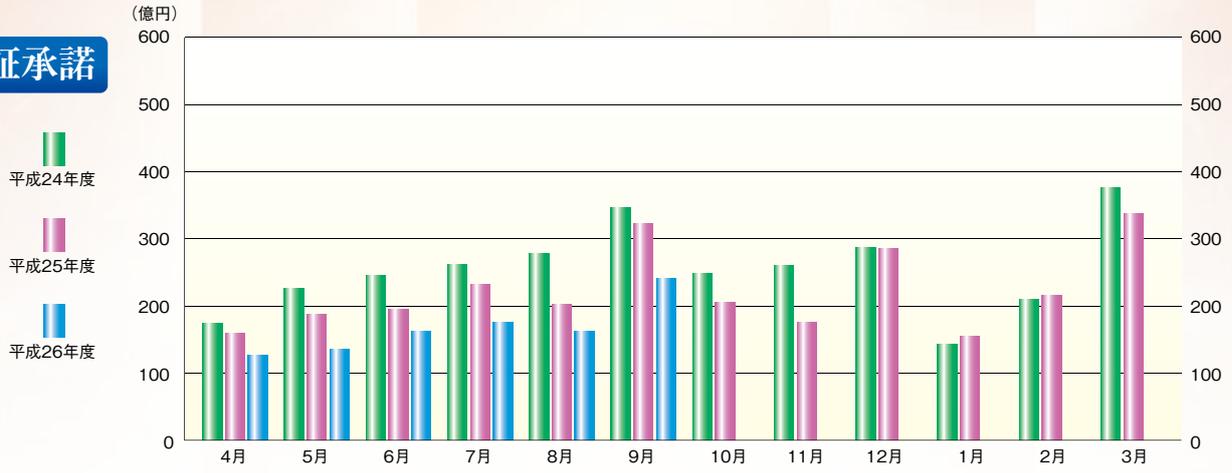
求償権回収

(単位：百万円、%)

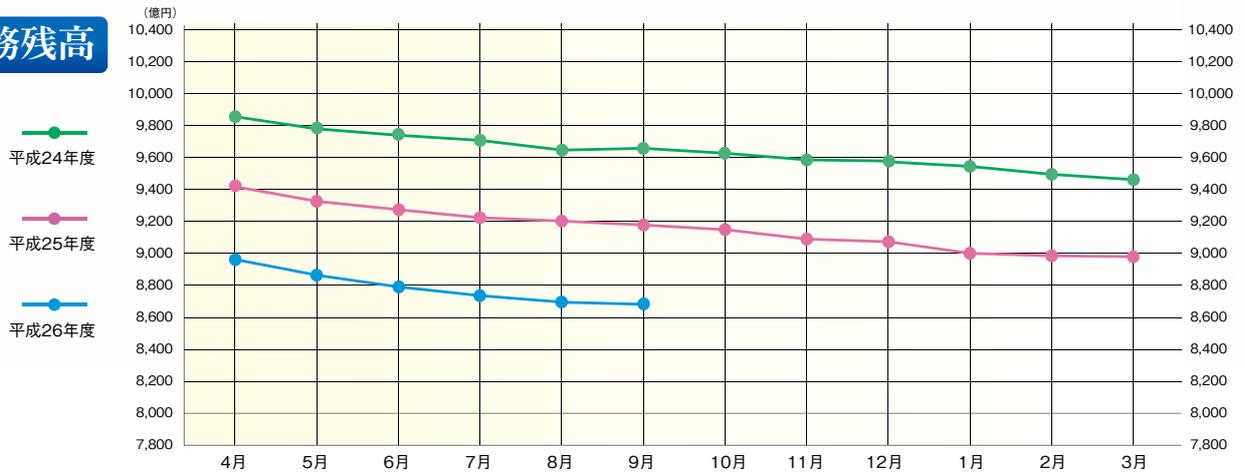
月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	19	297	67.9	71.7
5	30	400	103.4	76.9
6	29	524	103.6	119.3
7	24	330	80.0	81.6
8	20	273	87.0	108.8
9	15	382	83.3	63.0
小計	137	2,206	87.8	83.7
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	137	2,206	87.8	83.7
事業計画	—	4,200	—	—
全国累計	—	74,410	—	90.9

*損害金回収を含む。件数は完済分。全国累計は速報値。

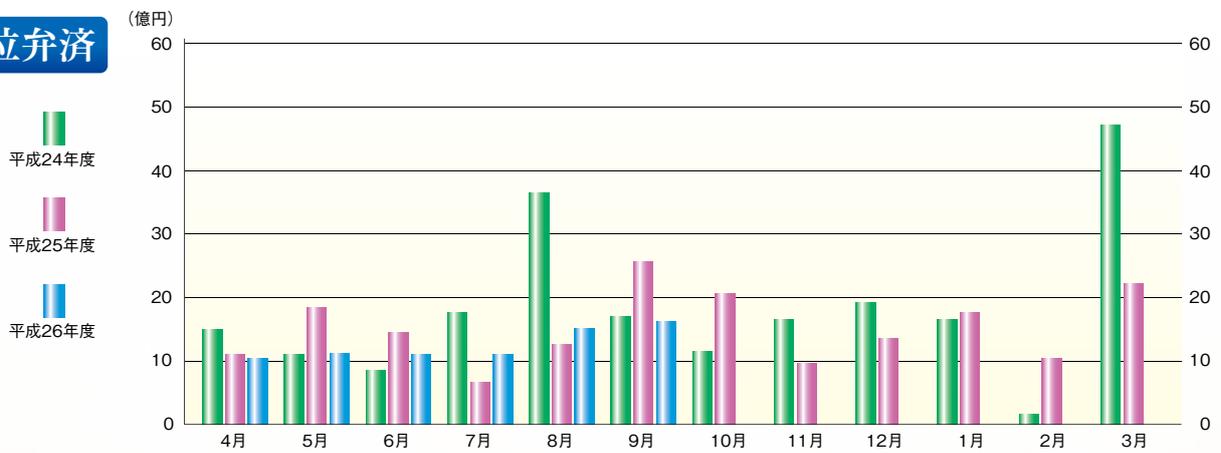
保証承諾



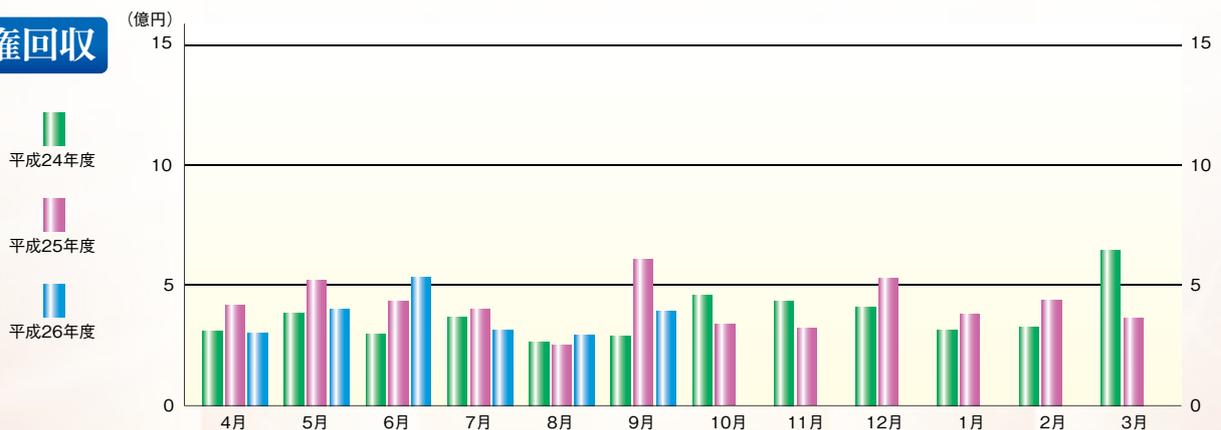
保証債務残高



代位弁済



求償権回収



私がご紹介します!

京のイチオシ企業

best recommended

株式会社白鳥リネン

株式会社白鳥リネン様は、「気持ち良いをお届けする」をモットーに、北近畿における多くの民宿、旅館、ホテル業者様等から信頼されるリネンサプライ業者です。

今年3月には工場を新築移転し、最新の洗濯設備を導入され、より一層のサービス向上に努力されています。



京都北都信用金庫
岩滝中央支店
矢野 明夏様

株式会社白鳥リネンは、京都府北部でリネンサプライ業を営み、地域の民宿や旅館、飲食店の多くに親しまれています。創業から半世紀、地域に根ざして発展してきた同社社長の西川明宏様にお話を伺いました。



クリーニングからリネンサプライへ

同社は昭和35年にクリーニング店を始めました。「父が中学を卒業後、京都市内へ丁稚奉公に出て技術を身に付け、地元丹後に戻り“白鳥クリーニング店”を始めました。はじめは地域のお客様の洗濯物を集めて回っていましたが、京都市内のリネンサプライ業者から丹後で下請を任される機会がありリネンサプライを行うようになりました。その後、その業者の撤退を機に技術ノウハウを教わり、リネンサプライ業が主業務となりました。」リネンサプライという業種について更にご説明をいただきました。「リネンは繊維製品、サプライは供給する、という意味です。“お客様が求めている資材を供給する”こと、それがリネンサプライです。」



社名と社長の思い

同社は創業時から“白鳥”の名前が入った商号で営業されています。名前の由来をお伺いしました。「丹後の阿蘇海にコハクチョウが飛来すること、クリーニングに対する白のイメージを合わせて“白鳥”クリーニング店と名付けたと聞いています。昔から白鳥さんと呼ばれてお客様に親しまれており、株式会社にしたときも“白鳥”は残して“白鳥リネン”としました。」

社長の経歴をお聞きました。「もともとは電材の卸売りをする会社に勤めていました。父が急に倒れてしまい、従業員も取引先もいたことから、継ぐしかありませんでした。私が高校を卒業する際に父から“これからのクリーニング屋は技術がどうというよりも、営業、人付き合いがでさんとあかん”と言われました。しかし遅くまで仕事をする父の大変な姿を見てきたので、元々跡を継ぐ気は全くありませんでした。」と笑いながら話されます。しかし、徐々に気持ちは変わっていったようです。「社会に出て営業職の経験を積んでいく中で、何か商売をしたいという考えが芽生え、どうせ商売をするなら基盤がある家業を継ぐのも一つと考えるようになりました。急なことで準備はないものの、幼少から家業を見てきたこともあって違和感はありませんでした。」と語っていただきました。



白鳥リネン 従業員の皆さん

Service and Quality (多種多様なニーズへの対応と品質)

同社のイチオンを聞いてみました。「当社の強みはサービスと品質です。お客様が商品を選ぶ基準としてQ(Quality)P(Price)S(Service)という言葉がありますが、この業界の慣習で値段を安くするために商品を単一・共用化するので多様なニーズに対応しにくいということが挙げられます。しかし、当社には様々な業種のお客様がおられ、むしろ特化することは、この地域では馴染みません。多種多様なニーズに対応できることが大手には真似できない強みです。また、価格競争をすれば大手に負けてしまいますが、他社よりも品質が高いこと、それがもう一つの売りとし自負しています。」同社は今年初めに新工場を建設しました。「従来の設備では業務



量のキャパシティが限界になり、従業員の負担や作業効率を考慮して、新工場を建設しました。これにより従業員や商品の動線整理、環境改善が図られ、一人一人がやりがいを持っていると感じます。」新工場を案内してもらいました。工場では最新の設備が配備され、効率良くリネン類が流れていきます。各持場では従業員の皆様が手際よく作業され、工場内の雰囲気が明るかったことが印象的でした。

株式会社 白鳥リネン

代表者/西川 明宏
所在地/京都府与謝郡与謝野町字岩滝 2256-2
従業員数/30名
事業内容/リネンサプライ
創業/昭和35年3月
設立/平成元年2月28日
資本金/1,000万円
URL/ <http://hakuchou.jp/>



株式会社 白鳥リネン



西川 明宏社長

お客様をはじめとした皆様の 発展と地域社会の繁栄に貢献

今後の目標について伺いました。「今までは受身の営業でしたが、現在ではお客様により良いものを提供するため提案型営業を行っています。例えば作務衣やデューベカバーのような、流行りの商品の取扱提案を行ったり、お客様の発注の手間を省けるようリネンの回収時にアメニティ販売を行ったりしています。」

同社では、従業員全員がお客様の気持ちに立つことを徹底されています。「従業員教育の一環で“自分ができるお客様に喜んでもらえること”を考えて朝礼で発表し、一か月後にそれができているかを検証しています。お客様に喜んでもらえることを自ら考えることで新しいアイデアやサービスが出てくると思います。」

名刺の裏面にも書かれている社是についてお聞きしました。「“営業活動を通してお客様をはじめ、関係会社と自社の限らない発展と、社員の成長を願うとともに、地域社会の繁栄に貢献する”これが当社の社是です。朝礼で唱和しているので、私だけでなく従業員全員が暗唱できます。会社が存在できるのは、この地域に根ざしているからこそであり、私達は地域の発展に寄与していかなければならない。」と熱い思いを語られました。

保証協会へメッセージ

先代から事業を引き継いで間もない頃、設備の修理に係る資金調達に苦慮したことがありました。中小零細企業の資金調達の窓口として、保証協会には企業のチャレンジを後押しできるような存在であってほしいと思います。

京都信用金庫

桂川支店

京都府向日市寺戸町八ノ坪126番

支店の沿革

- 昭和52年12月6日
向日支店を開設(向日市寺戸町小佃12-3)
- 平成26年4月14日
現在地に新築移転し桂川支店に名称変更



支店管内の産業の特色及び 中小企業金融の取組みなどについて

店舗の南東を走る国道171号線沿いおよび久世工業団地内には、活況なメーカーが多く存在しています。また、店舗の周辺では、イオンモール京都桂川のオープンを控えているほか、新規分譲マンションの建設(1,600戸以上)が予定されており、新たなお客様の増加が期待されています。そのため当店ではイベントや事業者向けセミナーを開催したり、当金庫の店舗ネットワークを利用したビジネスマッチングを促進したりするなど、融資による財務面の支援だけでなく非財務面の支援も積極的に行っています。

保証利用推進の方策について

エリア内の事業者様の、様々なニーズにマッチした商品を積極的に提案しています。また、経営改善支援に向けた取組みも重視しており、京都経営サポート保証制度についても今後一層活用していきたいと思っております。



8月22日 夏祭りの様子

支店の スローガン

「イノベーション！ ～日々変化してゆく街並みと共に～」

再開発が進む桂川駅前地域において、当店は新しい街づくりの一翼を担っています。当金庫の新たな戦略基盤構築のモデル店舗としての位置づけを常に意識し、地域のお客様に存在感や安らぎを感じていただけるような革新的な活動を数多く行うことで、いつまでも愛され、必要とされ続ける店舗を目指します。



これまでで一番心に残る体験

本年4月14日、15日の新築移転オープンイベント2日間で900人のお客様にご来店いただくことを目標としました。いくら時間があっても足りない状況の中、寒い2～3月に職員全員が歯を食いしばって必死の思いでたくさんのお客様を訪問しました。本当に900人もご来店いただけるのだろうか…と不安でしたが、2日間で約1,000人のお客様にご来店いただきました。「寒い中何回も来ていただいたり、電話してもらったりして熱意に負けました」など、店舗職員にとってはこの上ない温かいお言葉をたくさん頂戴し、全員が達成感、満足感、充実感を味わうことができました。イベント2日目の夕礼時には嬉しくて涙を流す職員の姿もあり、目標に向かって全員が一致団結することの素晴らしさを改めて感じました。

職員の方々へのアドバイス

インターネットやスマートフォンの登場で、お店に行かなくても買い物ができたり、金融機関に行かなくても預金や投信の購入ができたりする時代になり、お客様と向かい合う機会がどんどん少なくなってきているように思います。こんな時代だからこそ、お客様との出会いを大切に、永きに渡ってお付き合いをいただき、必要とされ続けるために「人間力」向上の自己研鑽に努め、魅力ある職員となることを大きな目標の一つにしてほしいと思います。

保証協会へメッセージ

地域経済の発展は、地元企業の成長、発展なしには考えられません。そのためには、円滑な資金供給と経営改善支援が必要不可欠です。地域経済、地元企業の発展に貢献するという共通の使命を全うするために、これからも密接な連携やご協力、ご指導、サポートをよろしくお願い申し上げます。

『努力、苦労は必ず報われる』

何事にも労を惜しむことなく熱い思いを持って取り組むことで、必ず後から達成感、満足感、充実感となって自分に返って来るのだと信じています。そしてそれが大きなやりがいとなり、自分自身の成長にもつながるのだと思います。

支店長のモットー

支店長
小野 弘行様





海の京都

伊根町



海の京都特集の第2回目は伊根町です。漁村では全国初となる国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、最近ではミシュラングリーンガイドで伊根(舟屋)の景観が2つ星を獲得するなど豊かな自然と風情が魅力です。伊根町が取り組む「海の京都」についてご紹介いたします。

鳥屋地区 ～舟屋の町並みを整備～

舟屋は1階が舟置き場、2階が居間となっている伊根町特有の住居です。海にせりだして建てられているため「日本で一番海に近い町」とも言われています。舟屋が立ち並ぶ鳥屋地区を「海の京都」伊根町実践推進会議の橋本弘副座長に案内していただきました。

「鳥屋地区は伊根町が行う「海の京都」事業の重点整備地区に指定されています。この地域で成功事例を重ねて、他の地区にも導入していきたいと考えています。」と話されます。具体的な取り組みについてお聞きました。「地域住民の皆様と協議し、街灯やガードレールが景観と一体感が出るよう、模索してきました。今後も、道路のカラー舗装をはじめ、町並み整備が進

むよう尽力していく予定です。」イメージ図では、新しく懐かしくもある町並みが描かれています。

「さらに今後は、公設民営の交流施設を建設する計画です。土産物店や飲食店を整備し、交流施設からそれぞれの舟屋に行き来できる舟を運行できたらと考えています。」今後も新しい魅力作りに取り組む鳥屋地区に、ぜひ足を運んでみて下さい。

この地域で成功事例を重ねて、他の地区にも導入していきたいです。



副座長
橋本 弘様

鳥屋の町並みイメージ図



向井酒造 ～集客スポットとして人を誘致～

創業241年を迎える向井酒造は伊根町唯一の酒蔵です。同社の長慶寺健太郎常務に話を伺いました。「当社の蔵は条件が揃えば良い酵母が自然と出てきます。そのため昔ながらの無添加、手作りにこだわっています。」人気の銘柄についてお聞きすると、「古代米の赤米を使った「伊根満開」が人気です。おかげさまで生産が追いつかないほど注文をいただいています。海外にも輸出するほどの人気になりました。」と話していただきました。

「海の京都」事業とのつながりについても伺いました。「伊根町に長く滞在してもらえるような「おもてなし」を考えています。具体的には舟屋を改装し、1階を日本酒バー、2階を宿にするというものです。構想段階ではありますが、数年以内に実現できるようにしたいと思います。」おもてなしの精神は別の形でも実施されています。「「良い日本酒を知ってほしい」、「日本酒(向井酒造)ファンを増やしたい」という思いから、大学生の就労体験

を受け入れています。うちのファンが増えれば、口コミで広がります。営業しなくても新規取引につながることもあります。」と楽しそうに語っていただきました。おもてなしの精神があふれる向井酒造に、ぜひお立ち寄り下さい。



常務
長慶寺 健太郎様

海から見る伊根町 ～観光航路を復活～

伊根湾を囲むように並ぶ舟屋を海から眺めることができるのが遊覧船の魅力です。海から舟屋を眺めると、舟屋が海にせり出しているのがより感じられます。また、背後には山がせまっけていて、海の青と山の緑が映える絶好の撮影スポットでもあります。(取材当日はあいにくの曇天でした。)

取材当日に乗船したKAMOME6は、遊覧船として運航さ

れているほか、日本三景の天橋立と伊根を結ぶ観光航路船としても活躍している新造船です。この観光航路は31年ぶりに復活したもので、天橋立の美しい松並木や丹後半島、若狭湾の景色を海上から楽しむことができる新名所でもあります。今年の運行は10月26日で終了しますが、来春の行楽シーズンから再開予定です。



地域おこし協力隊 ～地域行政の取組み～

地域おこし協力隊とは、地方自治体が都市住民を受け入れ、地域おこし活動支援などの「地域協力活動」を通して、地域の活性化に貢献してもらうという総務省の制度です。

伊根町ではこの制度を利用して2名の方が様々な活動に従事されています。今回伊根町観光協会と連携して旅行企画・販売を担当されている杉本健治様に話を伺いました。「もともと京都とは縁がなく、前に勤めていたところも他県でした。大学で町おこしを学んでいたこともあって、地域おこし協力隊に応募し受け入れていただきました。伊根町の人は穏やかで温かみがあります。一方で、この町で多く行われる祭への意気込みは熱く、普段とのギャップに驚かされます。」と話されます。

7月から地域おこし協力隊として従事されていますが、既に初心者向けの魚釣り企画などを実施され、参加者の評判も上々

とのこと。現在は秋・冬向けの企画を住民の方と進められています。今後の意気込みについてお聞きしました。「海の京都」として海が注目されますが、伊根町の多くは山間部です。幻の小豆といわれる薦池大納言や筒川地区を中心に生産される筒川そばといった山の幸の魅力も発信していきたいです。」とまだまだ構想は尽きないようです。

伊根町の多くは山間部、海だけでなく山の幸の魅力も発信していきたい。



旅行企画・販売
杉本 健治様

ふなやんからのコメント

これからの季節は、「伊根ぶり」や「筒川そば」など美味しいものが盛りだくさん！11月9日(日)には、筒川文化センターで「筒川そばまつり」が開催されます。ぜひ一度、伊根町にお越し下さいやん。



伊根町ふるさとPR大使 ふなやん

宇治地域および亀岡地域において 創業支援ネットワークが発足しました

平成26年7月2日、宇治商工会議所、宇治市、日本政策金融公庫京都支店、当協会宇治支所で構成される創業支援ネットワーク「宇治チャレンジスクエア」が発足しました。また2か月後の平成26年9月9日には、亀岡商工会議所、亀岡市、日本政策金融公庫西陣支店、当協会南丹支所で構成される亀岡創業支援ネットワーク「かめおか・ドリームサポート」が発足しました。

創業支援ネットワークは、支援機関相互にノウハウを補完・共有し、

円滑な創業支援を進めることを目的としています。各種情報提供、創業相談（創業計画書の作成支援、資金調達など）、経営相談（税務・労務管理、販路開拓）、専門家の無料派遣など、創業前から創業後まで、切れ目のない支援メニューを準備しています。

また、商工会議所を総合窓口として一本化することで、利用しやすい支援体制を整え、創業に関する相談にワンストップで対応します。

総合窓口

- 宇治チャレンジスクエア
宇治商工会議所中小企業相談所
TEL 0774-23-3101
- かめおか・ドリームサポート
亀岡商工会議所
TEL 0771-22-0053

地域での創業を盛りそうと、宇治商工会議所や宇治市、金融機関など4団体が支援ネットワーク「宇治チャレンジスクエア」を立ち上げ、2日に宇治市宇治の同商議所で初会合を開いた。新しいビジネスや事業所の育成に向けて連携を深め、地域経済の活性化につなげる。



創業支援の取り組みについて話し合う参加者
(宇治市宇治・宇治商工会議所)

他の団体は日本政策金融公庫京都支店（京都市下京区）と京都信用保証協会宇治支所（宇治市大久保町）。

現事業の参入を検討している個人と企業を対象に、総合窓口を務める商議所の経営者らから創業計画の作成や資金調達

宇治市内での起業や新の相談に際するの、

宇治での創業支援

商議所、市、金融機関がネットワーク

計画作成や資金調達、販路開拓…
地域経済の活性化を図る

金融機関の低利融資制度や宇治市のベンチャー育成制度などを紹介する。創業後も税務や労務管理、販路開拓などを幅広くサポートする。

ネットワーク発足の背景には、創業の伸び悩みがある。宇治商議所の加盟企業は今年3月末で1662社。2009年度から5年連続で退会が入会を上回る状況が続き、13年度に退会した好社のうち約半数は事業者の高齢化などに伴う廃業だった。

会合で商議所の長谷川副理事長は「地域経済に新しい活力を吹き込む創業支援が欠かせない」と述べた。続いて同支所が宇治市内で過去5年間にを行った創業支援が、在りし頃の多くは美容業というデータを示し、参加者が得意交換した。会合は今後、定期的に開く。
(熊本伸洋)

26年7月3日 京都新聞

丹波

丹波で起業サポート

商議所などネットワーク結成

亀岡市内での創業を、開始後までの長い目指す人を支援するサポートを自担す。めまき産産などが連携。構成団体は同商議所と宇治ネットワーク（京都市上京区）、日本めおか・ドリームサポート（京都市上京区）、宇治商工会議所、同商議所に総合窓口を担う。創業支援に際しては、各団体の代表が現状の支援制度を紹介し、「創業者の困難なサポートこそがネットワークの狙い。年度内に支援第1号を生み出す」と確認し合った。今後、定期的に会合を開く。
問い合わせは亀岡商工会議所0771-22-0053。
(小池直弘)



発足した「かめおか・ドリームサポート」の初会合（亀岡市余部町・亀岡商工会議所）

現ビジネスの開始を目標、各種の情報提供や指す個人や企業が対相談、創業計画書の作成支援などを行う。各金融機関の融資制度の利用法を紹介し、労務や税務管理などもサポートする。

各団体は個別に支援を行っていたが、窓口を一本化することで利用しやすい支援体制を整える。亀岡での起業家を増やして地元経済の活性化を目指す。

9日の初会合では各団体の代表が現状の支援制度を紹介し、「創業者の困難なサポートこそがネットワークの狙い。年度内に支援第1号を生み出す」と確認し合った。今後、定期的に会合を開く。
問い合わせは亀岡商工会議所0771-22-0053。
(小池直弘)

26年9月10日 京都新聞

広報誌のご紹介

当協会では、次の各種広報誌を発刊しています。

既に関係機関の皆様には送付させていただいておりますが、追加でご希望の際は、本所総務課または最寄りの支所までお気軽にお申し付けください。

また、ご一読いただき、ご意見・ご感想等ございましたら、本所総務課までお寄せください。

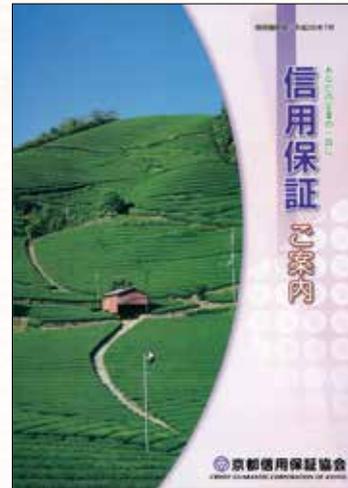
信用保証ご活用のおすすめ



信用保証協会をご利用いただく中小企業者の皆様向けに、信用保証協会のしくみや特徴についてわかりやすく解説しています。

<平成26年4月改訂>

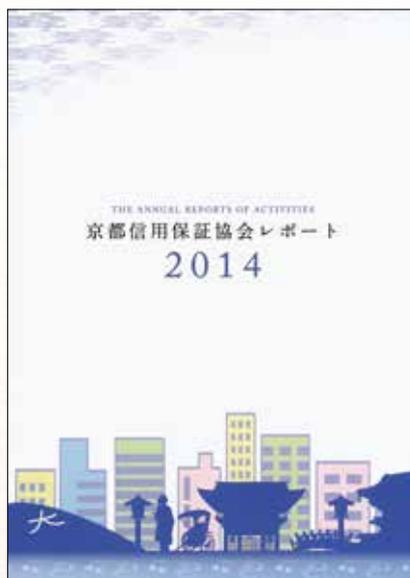
信用保証 ご案内



関係機関の皆様向けに、信用保証の内容から各種制度の紹介、保証申込手続きなどをコンパクトにまとめています。

<平成26年7月改訂>

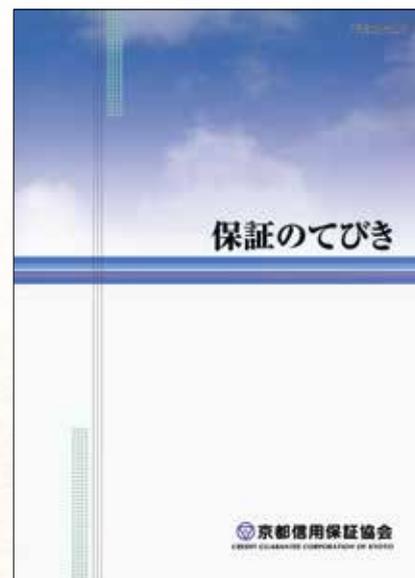
京都信用保証協会レポート2014



平成25年度の事業活動等を掲載した当協会のディスクロージャー誌です。

<平成26年8月発刊>

保証のてびき



金融機関の皆様向けに、関係書式を多数記載した手引き書です。

<平成23年12月改訂>

「信用保証ご活用のおすすめ」と「京都信用保証協会レポート2014」については当協会ホームページでもご覧いただけます。

京都信用保証協会

検索

<http://www.kyosinpo.or.jp>



本所

〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17番地 京都府中小企業会館内

- 業務区域 / 京都市、向日市、長岡京市、乙訓郡
- 業務部保証推進室の担当地域
保証推進第一課 / 北区、上京区、中京区、下京区、右京区、西京区
保証推進第二課 / 南区、伏見区、左京区、東山区、山科区、向日市、長岡京市、大山崎町

●電話	●FAX
保証業務課 : (075) 314-7221	(075) 314-2034
保証推進第一課 : (075) 314-7226	(075) 321-6117
保証推進第二課 : (075) 314-7227	(075) 314-8111
経営相談課 : (075) 314-7221	(075) 321-6117
経営支援課 : (075) 314-7222	(075) 321-3043
期中支援課 : (075) 314-7222	(075) 321-3043
管理業務課 : (075) 314-7225	(075) 322-1038
管理第一課 : (075) 314-7225	(075) 322-1038
管理第二課 : (075) 314-7225	(075) 322-1038
総務課 : (075) 314-7223	(075) 321-6331
人事課 : (075) 314-7965	(075) 321-6331
電算統計課 : (075) 314-7224	(075) 314-3545
検査室 : (075) 314-7223	(075) 321-6331



宇治支所

〒611-0033

宇治市大久保町上の山36番地の7

- 業務区域 / 宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、相楽郡、綴喜郡、久世郡

●電話 / 保証関係 : (0774) 43-8822	●FAX / 保証関係 : (0774) 43-8899
管理関係 : (0774) 43-8823	管理関係 : (0774) 43-8824



南丹支所

〒621-0052

亀岡市千代川町千原2丁目6番11号

- 業務区域 / 亀岡市、南丹市、船井郡
- 電話 / (0771) 22-1041 ●FAX / (0771) 22-6737



中丹支所

〒620-0804

福知山市石原2丁目24番地

- 業務区域 / 福知山市、綾部市、舞鶴市

●電話 / (0773) 27-6156	●FAX / (0773) 27-6158
----------------------	-----------------------



丹後支所

〒629-2503

京丹後市大宮町周積2226番地3

- 業務区域 / 宮津市、京丹後市、与謝郡

●電話 / (0772) 68-0601	●FAX / (0772) 68-0613
----------------------	-----------------------

あなたの企業の一員に

京都信用保証協会

CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO

<http://www.kyosinpo.or.jp/>



この印刷物は、大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。また、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。



第Ⅱ四半期の表紙

神蔵寺 イロハモミジ

亀岡市内でも特に早く色づく紅葉の名所。790年、最澄がこの地を訪ね建立したのが始まりとされる。樹齢400年ともいわれるイロハモミジが境内を覆い隠すように鎮座する。